

呼吸器内科 診療科長 就任挨拶

診療科長 石井 知也



平成29年6月1日より呼吸器内科の診療科長を拝命しました。この場を借りてご挨拶致します。

当科における診療の特色は、第一に全てのスタッフがいかなる呼吸器疾患にも対応できる幅広い知識と技量を有しているということです。大学においては肺癌の治療が中心になりますが、積極的に学会や研究会に参加することで、幅広い知識と技術を習得するように努めています。第二にスタッフ全員が総合内科的な力量も併せ持っていることです。豊富な知識をもとにした問診の技量、身体診察及び臨床推論

能力の技量は高いと自負しています。第三に私たちは香川県に勤務する全ての呼吸器疾患に関わる医師(内科だけでなく外科、放射線科、病理診断科等の専門医)と協力し、しっかりした病院間・診療科間連携を行っていることです。このような協力・連携体制のもと、香川県の呼吸器診療全体の底上げを図っています。ただ、これだけでは呼吸器疾患を有する患者さんが安心して医療を受けられる体制が十分であるとは言えません。香川県における呼吸器内科専門医数はその患者数に比してまだまだ少なく、将来の香川県の呼吸器内科診療を担う医師の増員と育成が最重要課題です。そこで、私たちは当診療科の魅力をしっかり伝え、呼吸器内科を志す医師の増加につなげていきたいと考えています。スタッフ一人ひとりが頑張って参りますので、引き続き皆さんの暖かいご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

『効率的な病棟運営を目指して』

消化器外科 藤原 理朗



この度、平成29年4月付で病棟医長会議議長を拝命いたしました。 平成28年度末の病棟医長会議の最後に、横見瀬病院長より指名を 受けての就任となりました。あまりに突然のことに戸惑いましたが、そ の場で引き受けさせていただきました。

病棟医長は、医師と病棟スタッフの間や、入院患者さんと病棟スタッフの間に立ち、病棟業務がスムースに行えるように調整する役目と、患者さんの入退院状況を把握し、病棟稼働率のコントロールをする重要な仕事と考えおります。

病院再開発が終盤にさしかかり、最も厳しい1年といわれる中での病棟業務に、苦労されている先生方も多いと思いますが、今後の病院をより効率的かつ健全な状態で運営していくための一助となるように皆様のご協力をいただきたいと考えております。多忙な日常診療業務のなか、各診療科の病棟医長が集まる会の進行役となりますが、不手際な部分も多く、まだまだ皆様にはご迷惑をおかけすると思います。病棟医長会議を通して日々の病棟業務がより良いものにできるように微力ではありますがお手伝いさせていただこうと考えておりますのでよろしくお願いいたします。

慢性痛の治療 ~その痛み、我慢していませんか?~

麻酔・ペインクリニック科 准教授 中條 浩介

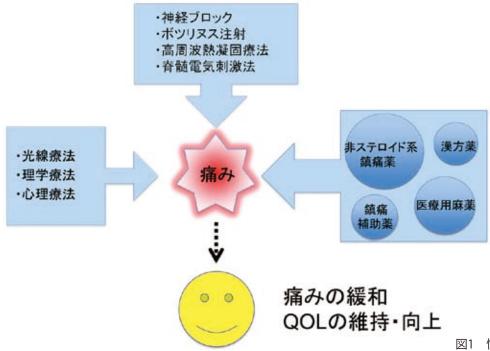
本来、痛みは身体に生じた異常事態を知らせる警告反応として大切な役割を持っています。 しかし、痛みの原因が明らかとなったあと、痛みは私たちにとって有益な存在から不必要な、さ らには有害な存在へと変わっていきます。警告の役割を持つ急性痛が長く存在すると、より強 い痛みや新しい痛みが現れてくる、いわゆる痛みの悪循環が生じ、慢性痛へと移行します。慢性 化した痛みは私たちの生活の質(Quality of life:QOL)を低下させることになります。このよ うな状態に陥った時はもちろんのこと、陥りそうな時には、身体的そして精神的な苦痛を適切 に緩和することがとても重要になります。

ペインクリニックでは、神経ブロック療法や薬物療法などの様々な方法を用いて、有害な痛み を緩和するための治療を行っています。痛みの治療にあたっては、専門的な知識と技術をもと に、症状や身体所見から痛みの原因を診断し、適切な検査や治療を行います。

痛みの種類は、本来の痛みの機能に由来する痛み(侵害受容性痛)、病的な痛み(神経障害 性痛)、心と密接に関係する痛み(心因性痛)など多種多様ですが、すべての痛みがペインクリ ニックの対象となります。部位別には、頭部・顔面痛、頚肩腕痛、胸背部痛、腹痛、腰下肢痛、骨盤 内・陰部痛など身体のあらゆる箇所の痛みが対象となります。病気の種類としては、片頭痛をは じめとする頭痛全般、三叉神経痛、筋骨格系疼痛(筋筋膜性痛、椎間板ヘルニア、変形性脊椎 症、脊柱管狭窄症、腰椎術後痛、肩関節周囲炎、胸郭出口症候群など)、帯状疱疹・帯状疱疹後 神経痛、がん性痛、閉塞性動脈硬化症やバージャー病、膠原病などによる難治性潰瘍、術後痛、 複合性局所疼痛症候群、幻肢痛、引き抜き損傷後疼痛、などがあります。

ペインクリニックでは、患者さん一人ひとりの身体的状況やライフスタイルを考えて、QOLの 維持と向上を最終目標に治療内容を選択していきます。具体的な治療方法としては、神経ブ ロックをはじめボツリヌス注射、高周波熱凝固療法、脊髄電気刺激法のような特殊な技術を用 いる治療法や薬物療法、光線療法、東洋医学療法などがあります。関連診療科と連携して、理学 療法や心理療法を行なうこともあります(図1)。

痛みは複雑な伝達・修飾制御機構によって容易に変化するものであり、多様な臨床症状を表 し治療に難渋することも多いことから、早期からの専門的な診断・治療が重要です。当科では、 痛み治療の知識・技術を有する専従医(日本ペインクリニック学会専門医)によるペインクリニッ ク外来を開設しています。慢性的な痛みで困っている方は遠慮なく受診してください。



增え続ける認知症?

精神神経科 准教授 角 徳文

2010年、厚労省は介護保険の資料から認知症高齢者の数を、280万人と推計しました。また 同時期に全国6地域で行なわれた疫学調査の結果では、介護保険を受けていない人も含める と、わが国にはおよそ440万人の認知症がいることが示唆されました。最近、某局の番組では 「認知症1100万人」とまで言っていました。そうなると65歳以上の高齢者の半分以上が認知 症ということになります。ちなみに2003年に発表された厚労省の同様の報告書では、認知症 の人の推計は150~200万人程度でした。いくら日本人の寿命が延びているとは言っても、認 知症はこのように加速度的に増える病なのでしょうか?

認知症が感染症のように爆発的に増えることはなく、ある意味見かけの数字ではないかと思 います。むしろ一般の方の認知症に関する知識が増えたことにより受診者が増加したことや、 治療薬がでてきたことで医師の側も積極的に認知症の診断をするようになったことなどが見 かけ上の認知症の数が増えた理由と考えられます。実際、この十数年の間には医療の面だけ ではなく介護保険が制定され、認知症の方々を取り巻く環境は以前に比較すれば格段に良く なったといえるでしょう。一方で、高齢の方の不安をあおるような情報が流布し、必要もない人 に投薬されたり、高額のサプリメントが売りつけられたりする事例もあるようです。

大半の認知症は老化と密接に関わる疾患であり、例えれば動脈硬化などと同じかもしれませ ん。もちろん動脈硬化がないのが一番ですが、多少の動脈硬化があっても長寿を全うする人も いれば、それによって重大な疾患を併発する人がいます。認知症も同様で、日常生活に大きな支 障をきたすかそうでないかは、その人本来の特性やおかれている環境に大きく影響されます。 そのような観点から、認知症の診療は単に診断や薬の投薬だけではなく、患者さんを取り巻く 環境も含めて生活を支えるという視点が重要です。当病院では、このような理念を基に専門施 設として地域医療に貢献すべく日々活動しております。

第11回七タコンサートを開催

医療支援室

平成29年7月5日(水)18時30分から第11回七タコンサートを開催しました。4組の出演 者により、丸亀ごんな連のよさこい演舞、元気もりあげ隊の歌のメドレー、医学部学生の管弦楽 演奏、独唱&ビアノ伴奏が繰り広げられました。入院患者の皆さまには憩いのひとときとなりま した。楽しい時間をありがとうございました。













『皆さんの参加をお待ちしています』

糖尿病センター

糖尿病患者さんやその家族の方を対象に「糖尿病教室」を開催しています。

下記のとおりの日程で(基本は2週おきの木曜日、14時から15時)、病院西1階カンファレンスルームもしくはそ

の近くの臨床栄養部研修室で開催しています。栄養士が、医師・ 看護師・薬剤師・臨床検査技師・歯科衛生士・理学療法士が、それ ぞれの立場から皆さんの糖尿病治療に役立ててもらうために お話をしております。時には、調理実習や実技もあります。アット ホームな教室ですので、普段から疑問に思っていること、主治医 の先生に聞きにくいあれこれなど質問していただいてもOKで す。飛び入り参加も可能ですし、また途中参加・途中退席もOK ですので、是非みなさん参加してみてください。

少しでも興味があるようでしたら、是非ノックしてください。お 問い合わせは臨床栄養部です。

十成23千技帽队例名至								
日程	担当者	日程	担当者					
7月6日	栄養士·医師	11月16日	栄養士·検査技師					
7月20日	栄養士·歯科衛生士	12月7日	栄養士·医師					
8月17日	栄養士·医師	12月21日	栄養士·歯科衛生士					
8月31日	栄養士·理学療法士	1月11日	栄養士·医師					
9月14日	栄養士·医師	1月25日	栄養士·理学療法士					
9月28日	栄養士·看護師	2月8日	栄養士·医師					
10月12日	栄養士·医師	2月22日	栄養士·看護師					
10月26日	栄養士·薬剤師	3月8日	栄養士·医師					
11月2日	栄養士·医師	3月22日	栄養士·薬剤師					

臨床研究に関するご案内

医学部倫理委員会委員長 医薬品等臨床研究審査委員会委員長

香川大学医学部附属病院では、診療に伴って取得した患者さんの貴重な個人情報を含む記録や尿・血液等の 検査試料、生検組織(内視鏡検査で検査のために採取した組織等)又は摘出組織等の試料が発生します。

それら記録試料等を本院は、医療機関としてだけでなく、教育研究機関として所定の目的に利用させていただ

きたいと思いますので、患者さんのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。 前向き研究(研究を立案、開始してから新たに生じる事象について調査する研究)に患者さんの情報を利用する場合は、書面により患者さんの同意をいただくことといたします。後向き研究(過去の事象について調査する研 究)の場合は下記URLに示しております。

利用目的の中に同意しがたいものがある場合は、1階外来ロビー内個人情報相談窓口または各診療科までお申 し出ください。特段のお申し出がない場合は、上記の利用目的のために患者さんの個人情報を利用することに対 して同意が得られたものとさせていただきます。

D臨床研究に関するご案内URL http://www.med.kagawa-u.ac.jp/hosp/about/rinsyo/



高松市内で定期的に開催している医療セミナー「イキイキさぬき健康塾」がケーブルメディア四国のコミュニ ティチャンネルで放送中です。実際にセミナーにご参加いただいた方の振り返りに、セミナー当日に参加でき なかった方に、医療セミナーに興味のある方に、皆様ぜひご覧ください。

イベントカレンダー H29.8~9月 予定表

月日		時間	場所	名称及び内容	担当	連絡先
8/10	木	14:00~15:10	西1階カンファレンスルーム	【糖尿病教室】管理栄養士:大切な水分補給のお話 医師:糖尿病のウン・ホント?!	臨床栄養部	(087)891-2066
8/19		13:00~17:30	かがわ国際会議場高松シンボルタワー6階	第8回臨床研究·治験四国協議会	臨床研究支援センター	(087)891-2345
8/24	木	14:00~15:10	西1階カンファレンスルーム	【糖尿病教室】管理栄養士:野菜クイズ! 理学療法士:なぜ運動は体によいのか	臨床栄養部	(087)891-2066
8/25 8/26	金 土	25⊟ 9:00~ 26⊟17:00~	サンポートホール高松 他	第40回日本母子胎児医学会学術集会	周産期学婦人科学	(087)891-2174
8/27		13:30~16:15	かがわ国際会議場	日本肝臓学会 ウイルス性肝炎 市民公開講座	消化器·神経内科	(087)891-2156
9/1	金	10:25~16:05		第31回中国四国脳腫瘍研究会	脳神経外科	(087)891-2207
9/10		11:00~12:00	丸亀町レッツホール高松市丸亀町1番地1 高松丸亀町壱番街東館4階	イキイキさぬき健康塾-香川大学病院と最新医療- 「術中MRI,PET検査、ナビゲーションシステムによる最新の脳腫瘍治療」	総務課	(087)891-2008
9/10		13:30~16:20	かがわ国際会議場	平成29年度日本肝臓学会 肝がん撲滅運動-市民公開講座-	消化器·神経内科	(087)891-2156
9/21	木	14:00~16:00	西1階カンファレンスルーム	がん患者サロン 第I部 ミニ護演会「小児がんについて」 護師 小児科 准教授 岡田 仁 第I部 "語らい"の時間 患者さん同士・ご家族の語らいの時間です	がん相談支援センター	(087)891-2473

編集委員会(50音順)

荒井(検査)、石井(外来)、小野(総務)、笹川(放射線)、白神(麻酔)、田川(管理)、田中(看護)、藤原(病棟)、 芳地(薬剤)、横井(情報)、横山(経営)、吉野(医事) 〔委員長 横見瀬病院長〕